

書道 I

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
書道 I (教育出版)	2	1年1組、2組

1 学習の到達目標

学習の到達目標	多様な書法表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。古典の中の表現方法を体得した上で、漢字仮名交じり書へとつなげていき、生活の中でのありかたを考えていく。
---------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	オリエンテーション	1	授業の進め方、教科書の説明を理解する。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・取り組む姿勢 ・提出物 ・授業の準備 ・授業中の発言 ・小レポート ・作品 ・小テスト
		運筆・用筆	10	運筆法、用筆法の基本を身につける。	○	○	○	○	
	5	篆刻の学習	10	篆刻の実習では、篆書を用いて印稿を作成し、印に刻す。	○	○	○	○	
	6	楷書の学習	14	唐の四大家を中心に学ぶ。 ・欧陽詢 ・虞世南 ・褚遂良 ・顔真卿 など	○	○	○	○	
後期	9	行書の学習	15	王羲之の蘭亭序を中心に学ぶ。 ・王羲之 ・風海 など	○	○	○	○	
	11	仮名の学習	10	平仮名と変体仮名を理解する。 連綿を学習し、古典の臨書に取り組む。	○	○	○	○	
	1	漢字仮名交じり書	10	古典を応用し、創作作品を書く。	○	○	○	○	

3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②書表現の構想と工夫	③創造的な書表現の技能	④鑑賞の能力
内容	書の伝統と文化について関心を持ち、書の良さや美しさを感じ取りながら、創造的に取り組めたか。	古典における書表現の特徴をとらえ、自らの意図に基づいて構想し、工夫して書くことができたか。	創造的な書表現をするために、様々な古典から書の表現技法を身に付け、書くことができたか。	漢字書体の変遷および仮名の成立等を理解できたか。また、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりや、その表現方法について理解できたか。
割合	20%(点)	10%(点)	60%(点)	10%(点)

評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

学年末評定について

評定	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0